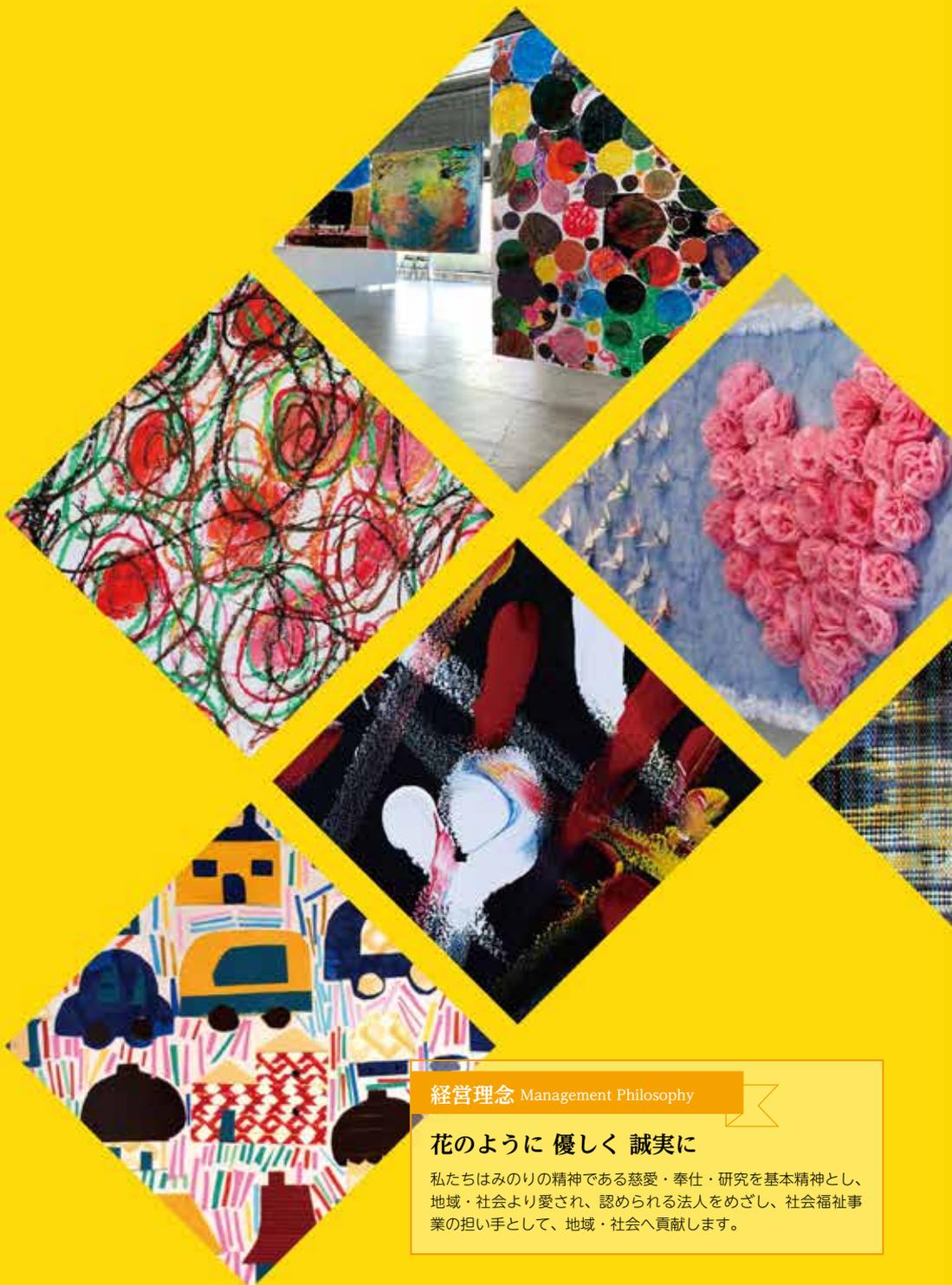




みのり

No. 107



経営理念 Management Philosophy

花のように 優しく 誠実に

私たちはみのりの精神である慈愛・奉仕・研究を基本精神とし、地域・社会より愛され、認められる法人をめざし、社会福祉事業の担い手として、地域・社会へ貢献します。

掲載内容

- 2 巻頭言、年始祈願式、
- 3 「ふくふく証」の取材
- 4 大分県高齢者福祉等実践研究大会、創立記念式・永年勤続者表彰
- 5 実践研究発表会、技能実習生インタビュー
- 6 わたしの職場リレー、人権擁護研修
- 7 みのり村作品展、スギ苗初出荷、内部監査、BeCAL掲載、紙おむつの研修
- 8 お知らせ、編集後記

発行日

2024年1月

発行者

社会福祉法人 みのり村

印刷

(株)電子印刷センター

賀春

2024年に想う

厚生労働省の考える地域包括ケアや、こども家庭庁が実施する少子化対策など、制度が現場に降りてきて矛盾に思う事は、霞ヶ関で考える企画と、地方の現実にはあまりにも大きくかけ離れていると強くいつも感じる事です。

大分県の若者が就職するのは、九州の中心である福岡市で、次が県庁所在地の大分市である。東京一極集中が叫ばれて久しいが、今も6大都市に集中しており、中でも福岡市は突出している。又、各々の自治体が工夫を凝らして労働力を囲い込んでいることも判明しており、益々地方と大都市の格差が開く一方である。

大分市も今や、マンションの建設ラッシュで、県内においての一極集中化である。当杵築市では、毎月の人口をたどると今では約2・6万人と平成の大合併から減り続けており、これからの下り坂が続き、2050年の動向予測では1・4万人と12月24日の新聞に載っていた。大分県も120万人弱から84万人と予測されている。人口動態は逆ピラミッド型で、この先、市や町が活性化の見通しは明るくない。つい最近も当市では、産婦人科病院が一つ姿を消し

たと聞く。東部圏域で残るのは、別府市が二つ、杵築市一つ、国東市、日出町にはないと聞く。この圏域18万人強の人口で子どもを産む病院が3箇所では心もとない。これでは少子化対策など議論する余地もなく、安心して子どもを産もうとする気持ちは起こらない。国が思い切った政策で、産婦人科病院に助成金を出し、国が保護しないと、Drは産科を選択せず、子供が増えていく要素がない。

高齢者においても2000年に、介護保険制度が成立してからは、デイサービス、デイケア、ヘルパー等々といった在宅支援の事業所や、有料老人ホームが雨後のたけのこみたいにできた。しかし、23年経った今では事業所の閉鎖が目立ち数も絞られてきており、包括ケアシステムが機能している実感はわからない。

2024年は明るい年になってほしいが、どこで歯車が狂っていったのか、世界のあちこちで法は守られず、争いが絶えない。国内でも大阪万博への多額の抛出金、ダイハツ自動車の違反問題や自民党のキックバックによる裏金問題などなど、正常な国家運営をできるのか、甚だ疑問でもある。

どうか、民主主義が守られ、強者も弱者もが共に生きる社会を目指して、山積する問題を解決するべく、当法人もその一角に加わりながら、明るい福祉社会を目指し一つずつ邁進したいと思う。

どうぞ今年も宜しくお願い致します。

理事長 大木 隆

令和6年年始

アクト響ホールにて、職員参加による年始を開催しました。



理事長 新年挨拶

大木理事長より、昨今の社会情勢などについて話があり、最後に「皆で力を合わせて、社会福祉法人としての使命を忘れないようにしましょう。みのり村の「人が人を大事にする」という理念が最も大切です。ご利用者を守っていくという根本精神は守っていかねければなりません。今、世の中の分岐点に入ってきています。今までの高度経済成長から今度はどうような成長になっていくのか、我々自身一人ひとりに問われています。本年も、自らの能力を発揮して、充実した良い年となることを願っています。」と新年の挨拶がありました。

式では、恒例の福引抽選会も行われ、大いに盛り上がりました。



福引きで連試し！



最後は二本締めで締めくくりました

祈願式を執り行いました

令和6年の祈願式を正法寺にて執り行い、役員員一同で一年間の安全を祈願しました。(1月3日)



年頭新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり職員を代表致しまして、ご挨拶を申し上げます。皆さんにとって、昨年はどんな年だったでしょうか。



祈願式代表挨拶

新型コロナウイルスへの対応も5類になり、新しい生活様式の中で利用者様の命を守り安全で安心した生活を送って頂くため、一致団結し介護・支援を行ってきたのではないのでしょうか。新型コロナウイルスも落ち着いて、皆様と一緒に仕事ができることを嬉しく感じたのではないのでしょうか。また、世間では、2023年はWCで侍ジャパンの選手たち、特に大谷翔平選手が活躍しているのを見

て、たくさんの刺激をもらい、同じように気持ちが高まった人も多かったのではないのでしょうか。彼はその後、メジャーリーグでホームラン王とMVPを獲得しました。彼と同じような結果を出すことは難しいですが、彼と同じように今の自分のできることを一生懸命やり、仲間存在に感謝しながら、共に介護・支援を頑張っていくとと考えています。



今年の干支、辰年・竜を抱負に重ねて言えば、竜頭蛇尾に終わることなく、また画竜点睛を欠くことなく、竜が水や雲、翼を得るように、持てる力を存分に発揮して飛躍する年にし、一年をやり切れるよう過ごしていきたいと思えます。

最後になりましたが、大木理事長におかれましては、ご健康に留意され、引き続きご指導いただきますようお願い申し上げます。今年一年みのり村に関係する皆様にとって良い1年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。令和6年1月3日

杵築障がい福祉部 白萩園

亀井 健一

「ふくふく認証」認証事業所としてオープンオオイト様の取材を受けました

Theme2「特別介護老人ホーム 菩提樹」のご紹介

「全室ユニット型個室」で利用者さんのペースで快適に過ごせる



- 0.1 法人としての歴史や事業内容について教えてください。
大木理事長：昭和26年に西日本で初の知的障がい児施設「みのり園」を開業しました。その後、知的障がい者の入居・高齢化とともに、昭和49年に特別介護老人ホーム「菩提樹」を設立。9つの施設と介護、グループホームなどを運営し、地域に貢献しながら「総合福祉ケアセンター」へと成長してまいりました。
- 0.2 「菩提樹」はどのような特色や強みがありますか？
安部さん：介護士一人ひとりに合わせた、きめやかなケアサービスが特徴である、ユニット型個室の構造が最大の特色です。ユニット型のメリットは個室の各部屋にトイレ洗面台が設置され、プライバシーも確保でき、安心に過ごせる点です。また、家族との面会も問題なく行うことができ、「看取り」においても、最期まで個室で受けとります。
- 0.3 介護の仕事、やりがいや魅力はどんな点ですか？
安部さん：「人が人を大事にする」の一言に尽きます。「これほど人を知り、役に立てることはないのではないか」と思える、素晴らしい仕事です。もちろん大変な面もありますが、利用者さんや家族様との笑顔がもたらしたとき、逆に励ましのお言葉をいただいたとき、大きなやりがいを感じます。
- 0.4 今後、取り組んでいきたいことや、お返しを教えてください。
安部さん：ユニケアの充実を図るため、ユニット型個室研修に参加したり、外部のユニット型個室を取り入れる研修施設にもなるよう頑張っています。長期的な取り組みにはなりますが、介護人材の育成や職員のスキル向上のためにも、意欲的に取り組んでいきたいと思えます。

ユニット型の施設内

1ユニットにつき10名ほどの利用者さんが、それぞれの生活のペースで過ごす。職員とのコミュニケーションも円滑です。

レクリエーションの実施

年間を通じてさまざまな行事やレクリエーション活動を行う。利用者さんはもちろん、職員たちも楽しめる内容の自己企画。

ICTの活用

コミュニケーションソフト(PALRO)を導入。利用者の機能向上や職員の業務負担軽減にも役立っています。

社会福祉法人みのり村 特別介護老人ホーム 菩提樹

〒873-0013 大分県杵築市大字日野1921-15
TEL 0878-62-2970
HP <http://www.minorimura.or.jp/>

Voice 「ふくふく認証」認証事業者インタビュー

令和5年9月23日認証
社会福祉法人みのり村 特別介護老人ホーム 菩提樹
志村 副理事長 藤本 本部長 志村 専務 大木 理事長 白萩 安部 一 理事長

職員と利用者さんが「つながる」 仕組みと環境を大切にしたい

Theme1 「ふくふく認証」について

認証を通じて、人材不足解消と職員の働きがいをサポート

0.1 参加意欲をしようと思った理由を教えてください。
安部さん：理事長から大分県が取り組んでいるこの制度を知ったのがはじまりでした。この法人や施設も今、人材確保に課題に直面しているなか、当法人も人手不足や、職員の働きがいは大きな課題のひとつです。「ふくふく認証」を受けたいことは、現在抱えている、当法人の課題と解決策を同時に意味で有効だと感じ、参加意欲をさせていただきました。

0.2 認証の申請の際、資料などはどのように整理されましたか？
安部さん：まず運営事業者を対象にした「支援メニュー」のセミナーや研修に参加しました。申請に向け、現状の確認や課題の整理、明確化が図れました。資料作成についても他の担当者の方からアドバイスをいただいたこともあり、戸惑うことなくスムーズに進めることができました。

0.3 法人として特に力を入れているのはどんな点ですか？
安部さん：掲げられている認証の基準は、すでに当法人では取り組んでいるものがほとんどであり、もっと強化してもいい項目がいくつかありました。その中でも、とにかく力を入れているのが「職員のスキルアップ」や「仕事へのやりがい」に対する取り組みです。

0.4 「ふくふく認証」を今後、どのように活用していきたいですか？
安部さん：認証後、施設の玄関先に認証書を掲示したり、認証マークを名刺やホームページにも活用し、少しずつ発信させています。この認証を通じて、職員が自分たちの職場や仕事に自信や誇りを持ち、前向きに取り組めるように思います。大木理事長：日々多岐にわたる業務の中で、認証取得に向けて積極的に取り組んでくれた職員には感謝するとともに、改めて人材の大切さを感じています。今までの取り組みを機に職員が、「ここで働いてよかった」と感じられる職場づくりにも引き続き力をつけていこうと思えます。

「おおいだ 働きやすくやりがいのある介護の職場 認証制度」
介護職員の人材育成や勤務環境等の改善に取り組む事業者を評価し、見える化する。ことにより、介護業界全体の採用アップを促し、介護人材の確保を支援することを目的とした制度です。

詳しくは
コチラ

大分県高齢者福祉等実践研究大会に参加しました

レンブラントホテル大分にて、第15回大分県高齢者福祉等実践研究大会が行われました。

みのり村を代表して「菩提樹ゆめユニット」「菩提樹うみユニット」「デイサービスセンター風と樹々と空と」がそれぞれ日々の研究成果を発表しました。

(11月20日)



第72回みのり村創立記念式並びに永年勤続者表彰

令和5年12月8日に、第72回みのり村創立記念式を執り行いました。

あわせて永年勤続者表彰も行い、今年度は10年表彰10名・20年表彰3名・40年表彰2名の計15名の方々が表彰を受け、大木理事長より表彰状と記念品が贈られました。

表彰者代表挨拶では、勤続40年の白百合園施設長古庄せつ子氏が謝辞を述べました。

勤続年数	所属	氏名
40年	理事長	大木 隆
	白百合園	古庄せつ子
20年	プリンちゃん	須賀 敏子
	白萩園	亀井 健一
	菩提樹	合田 清子
10年	第1みのり学園	古城 沙穂
		田中 和紀
		大谷麻莉子
	白萩園	原田ひろみ
		後藤 太希
		富松 正敏
	ワークセンター「誠」	野上 智世
		宮本 政子
	菩提樹	西村真由美
ヘルパーステーション	西村真由美	
介護福祉タクシー	二宮 唯一	



これからも宜しくお願い致します



永年勤続者表彰受賞者謝辞

本日はみのり村創立記念日、おめでとうございます。

永年勤続表彰者を代表致しまして、三言お礼の言葉を申し上げます。

光陰矢の如し、四十年という長い年月を、働き続けることができましたことはとても感慨深いところでございます。

深い理念の下、みのり村を創設された名管理理事長先生が、障がいを持った人に対する熱い思いを、右も左もわからない私たちにも滾々と説いてくださり、育てて下さったおかげだと、本当に感謝しております。

名管理理事長先生は、常に広い視野で物事を見つめていらっしゃいました。

重度の障がいを持った人々にも計り知れない「思い」と「可能性」があること、その思いは利用者さま本人に教えてもらいなさいと、利用者さまに向き合う大切さを教えて下さいました。

また、物を粗末にはならないとおっしゃり紙一枚でも大事にされ、それぞれの価値を十分に、大切に活かしながらいと身をもってご指導くださいました。「そのものの命を大切に思う気持ち」はすべてのことにつながり、私の人生を豊かにしてくださいました。

平成十七年十一月名管理理事長先生との悲しいお別れがありました。

その後のみのり村も大木理事長先生をはじめ、多くの先輩方々がみのり村の理念を受け継ぎ、「花のようにやさしく誠実に」をモットーに、福祉サービスの充実を追求し、成長・発展を続けてまいりました。七十二年という歴史の中で、村に関わつてこ



れた先輩方々には深く敬意を表したいと思います。

近年、国の施策が次々と展開され、福祉事業の場にもさまざまに影響しております。

その中でもワーク・ライフ・マネジメントが充実されることによって、福祉の現場も随分と働きやすい環境になりました。

みのり村も「くるみん認定」「えるほし認定」をいただくさらさら「ふくふく認証」を頂くことができっております。

年々働きやすさを増すことができているこの環境を活かし、これからの未来を担う後輩の為に、多くの職種、異なる年齢の人たちと協働し、感謝の気持ちを大切に、思いやりを持って施設の運営に参画することにより、引き続き今後のみのり村の発展のために、尽力してまいりたいと思っております。

今後も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

これからも皆様のお力を借りながら、精一杯の努力を続けることを誓いまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

令和五年十二月八日

障害者支援施設 白百合園

古庄せつ子

第23回みのり村 実践研究発表会実施

アクト響ホールにてみのり村実践研究発表会を開催しました。今回は6チームが研究を発表しました。

会場にいる職員全員で各チームの研究について話し合い、考えることができ、有意義な会になりました。

(11月2日)



皆さんお疲れさまでした



INTERVIEW TECHNICAL INTERN

～技能実習生にインタビューしました～



ジョアナ



リアン



グラディス

Q1 日本で福祉を学ぼうと思ったきっかけを教えてください。

グラディス：日本は介護を学ぶ環境が整っていることを知り、私も環境が整っているところで勉強したいと思い日本に来ました。

リアン：私は、高齢の方と接することが好きです。祖母の介護をした時、とても喜んでくれたことが嬉しく、そのことがきっかけで質の高い介護を勉強したいと思い日本に来ました。

ジョアナ：世界でも高い技術のある日本の介護に興味があり、学びたいと思い日本に来ました。

Q2 実習期間が終了した後の目標を教えてください。

グラディス：学んだことを活かして介護の仕事につきたいです。

リアン：まだ何も考えていません。まずは技能実習を通して技術を身に付けたいと思っています。

ジョアナ：帰国して、今回の技能実習で学んだ技術を活かしたいと思います。

Q3 みのり村で働くにあたって、意気込みを聞かせてください。

グラディス：みのり村では、介護だけでなく日本語も勉強でき、利用者様からは日本の文化も教えてもらえるのでとても楽しいです。介護の仕事は大変ですが、諦めずに頑張りたいです。

リアン：利用者様の喜ぶ笑顔を見て私も幸せに思うので、それをやり甲斐に頑張ります。

ジョアナ：一緒に働くみのり村の職員さんは、共同スペースや、居室を清潔に保って仕事をしているので、私も見習ってお仕事を頑張りたいです。

みのりスマイル
「笑顔で安心して働ける居場所作り」



みのりスマイル 管理者 阿部孝

Q1 今の仕事のおもしろい部分

利用者さんと対話する中で色々な話が聞けることがおもしろい部分です。みのりスマイルでは、利用者さんと職員の信頼関係を築く為に、積極的なコミュニケーションを重視し、誰にでも気軽に声掛け出来るようフレンドリーな居場所を心がけています。その為に、毎日の挨拶からだと思ひ常に心掛けて実行しています。

Q2, 今チャレンジしたいことを教えてください

職員、利用者さん全員が仲間意識を持ち、励まし、

達成感を感じ、楽しみながら作業を行い、質を高めていけるように毎日挑戦しています。特に、生産商品の絞り込み、価格の見直し、パッケージの見直し、販路の拡大など、作業の効率化を図りながら少しでも利用者さんの工賃が上がるように、職員と知恵を絞りながらこれからもチャレンジして行きます。

Q3, みのりスマイルを今後どのような施設にしていきたいですか？

利用者さんが毎日楽しく通い、安心・安全に仕事ができるよう、職員が利用者さんの身になって、寄り添いながら皆で力を合わせて、日々取り組めるように精進して参ります。又、スマイルの仕事を通じて、全ての人々が住み慣れた地域で自分らしく、楽しく、生きがいをもって笑って暮らせることができるようにサポートして行きたいです。

次は
白萩園です



お花の寄せ植えも好評販売中!



シャインマスカットを
空港でも販売!!



仕事を企業様から
受託することも!



抜群のチームワーク!!



夏にはみんなで
スイカ割り♪



油屋さんと同じポーズで!



阿部 哲三様に講師をお願いしました



40名の職員が参加しました

外部講師による人権擁護
研修を行いました

日出障がい福祉部にて、社会福祉法人夢ひこうせん元施設長の阿部哲三氏を講師にお迎えし、午前中は「障がいの者の権利擁護について」、午後は「福祉の現場で働くということ」というテーマで研修を実施しました。

(9月29日)



第19回みのり村作品展 扉をひらいて下さい～笑う・生きる・描く～



令和5年11月22日～11月26日までの5日間、第19回みのり村作品展を大分市アートプラザで開催致しました。

無事終了することができました。

期間中、多くの皆さま方にご来場頂きましてありがとうございました。

心から御礼申し上げます。

今年度も関係各位のご協力を頂き、



みのり村共同作品「ちようちよの標本箱」



絵画クラブ共同作品「Life」



第1みのり学園共同作品「向日葵」



白百合園共同作品「心のとびら」



風と樹々と空と共同作品「秋麗～あきうらら～」

スギ苗初出荷へ

戦後に植樹した人工林が伐採期を迎え、スギ苗のニーズが増し、労働力が不足する中、森林環境譲与税を活用した市の取り組みから、ワークセンター「誠」では、杵築市の助成金を活用し、スギ苗の育成から出荷までを行い、1月12日に1025本のスギ苗を出荷することができました。

また、その様子を1月29日の大分合同新聞に取り上げて頂きました。



令和5年度も 内部監査を実施

全拠点（日出障がい福祉部、杵築障がい福祉部、高齢者福祉部）の内部監査を実施いたしました。

法人業務の質の向上、健全な運営を目指す目的で毎年実施しています。

(11月7日・14日・21日)



就活情報誌 BeCAL

今回も就活情報誌 BeCAL に掲載して頂きました。



紙おむつの研修を行いました

排泄ケアの質を高めるための研修を、ご利用者の同意のもとで介助をしながら学びました



総合福祉ケアサポートセンター みのり村

- ・特別養護老人ホーム菩提樹（個室ユニット）
- ・ショートステイ事業
- ・菩提樹デイ「風と樹々と空と」
- ・ケアプランセンターぼだいじゅ
- ・ホームヘルプステーション ぼだいじゅ
- ・配食サービス
- ・在宅介護支援センターぼだいじゅ
- ・えむほガーデン（Café m・歩っ・えん）
- ・障がい者支援施設 第1みのり学園
- ・児童発達支援センター「プリンちゃん」
- ・障がい者支援施設 第2みのり学園
- ・障がい者支援施設 白百合園
- ・みのりスマイル（就労）
- ・総合相談支援 M・プラザ HIJI
- ・障がい者支援施設 白萩園
- ・ワークセンター「誠」（就労）
- ・みのり村 いち押し工房
- ・グループホーム みのり村
- ・総合相談支援 M・プラザ KITUKI
- ・みのり村介護・福祉タクシー
- ・菩提樹まちかど交流サロン「福ろう」
（平成27年4月～令和2年6月）
- ・認知症カフェ ふくろう茶屋
（平成28年1月～令和2年6月）

障がい児から就労、そして老後までの
安心トータルサポート

編集後記

みのり107号を最後までご覧いただきありがとうございます。

2024年、今年はどんな一年になるだろうかと心躍らせていた矢先、日本では大きな地震や事故など、心が痛む出来事が続いてしまいました。

あらためて犠牲になられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年は「辰年」です。これからは昇り龍のように、少しずつでも世の中が力強く上昇していくことを祈るばかりです。

「今、わたしにできることは何か？」を考えて、共に力を合わせて支え合っていきましょう。

（広報担当）

編集・発行／本部人事企画課

〒873-0013

大分県杵築市大字日野1921番地の7

電話：0978-66-1200

FAX：0978-62-2974

URL <http://www.minorimura.or.jp/>

※写真掲載には、
本人の了解を得ております。

寄贈品ありがとうございます

杵築市農林水産課様より さつま芋を頂きました



さつま芋をありがとうございます

虫食い・規格外等の理由で、食べられるにもかかわらず出荷できないものを譲って頂きました。

皆さんで美味しく頂きたいと思います。

大きくて立派なさつま芋をありがとうございます。



大分県信用組合様より りんごを頂きました

大分県信用組合様が高齢者の健康づくりに役立ててもらおうと取り組まれている「りんごプロジェクト」として、りんごのクリスマスプレゼントを頂きました。

「一日一個のりんごは医者を選ばせる」ということわざのとおり、りんごを食べて、ご利用者の皆さんが健康で過ごせますように。ありがとうございました。



大切に頂きます



りんごをありがとうございます



「小さな親切」運動 杵築支部様より タオルを頂きました

1月26日にタオルを頂きました。

「小さな親切」により頂いたタオルからリレーの様に「親切」が次へ繋がるように大切に使用させていただきます。



日出障がい福祉部で電気自動車 SAKURA を導入

運転操作のしやすさや燃費の良さ、災害時の電力供給の一つになるなど諸々の点を考慮して電気自動車を導入致しました。

法人内での電気自動車の導入は、高齢者福祉部に次いで2台目となります。



電気自動車 SAKURA